

# ま と め

## 現代神学の諸潮流

- エコロジーの神学
- ラテンアメリカ解放の神学
- 黒人神学
- フェミニスト神学
- 終末論
- 宗教の神学
- 動物の神学

2

## 神学とコンテキスト

〈誰が〉  
〈どこで〉  
〈何のために〉  
〈どのような〉

神学を必要とするのか

3

## 伝統的神学の再検討

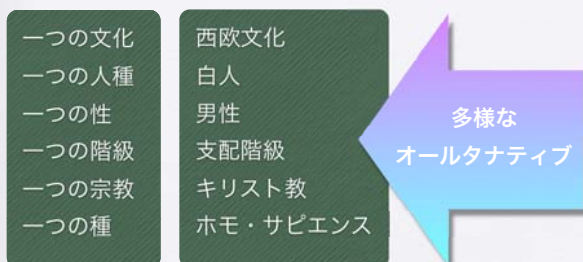
欧米の伝統的神学は「普遍的」であることに価値を置いてきた。

しかし、それは本当に普遍的なものだったのだろうか？

4

## 西欧神学の相対化

- ・ 西洋神学は決して「普遍的」なものではない。
- ・ 西洋神学において不可視化されてきた「偏り」を顕在化させることに現代神学の課題がある。



5

## リアリティの認識とその拡充

- ・ 様々な神学的思索と実践が前提としているリアリティをどのように共有することができるのか。
  - ＊生命あるものの「うめき」
  - ＊解放の神学が前提とする「貧しさ」
  - ＊黒人や女性の「苦悩」
  - ＊宗教と宗教の間の「緊張」「衝突」
  - ＊地球温暖化や動物実験の犠牲になっている動物たちの「無言」
- ・ 我々が世界認識を批判的に拡充していくことができるかどうか、21世紀の行く末は大きく影響される。

6